

Rafiki 通信

2026年1月30日

第5号 大下 泰治

明けましておめでとうございます。私は大晦日に謎の腹痛に襲われましたが、なんとか健康な状態で新年を迎えることができました。今後もさらに多くの情報をタンザニアから発信していこうと思います。ただ、「健康第一!」。ここは大切に、一年を過ごしていきたいと思います。みなさんもお体は大切に!

ついに! 本当によろしく! 私の活動が本格的に始まりました。始まるまで約3か月...(笑)。まさかこんなに遅くなるとは思いませんでした。今回の通信では、活動先での内容について書いていこうと思います。

活動先(ムソガ小学校)について

教員数 : 13名(+私)

児童数 : 567人(1月15日の時点)

クラス数: 8クラス(幼稚園クラス+1~7年生 各学年1クラスずつ)

→同じ敷地内に幼稚園クラスがあります。

学校の時間割

06:00~08:00 : 登校+掃除+全校集会

08:00~10:00 : 授業(40分×3コマ、**休み時間なし**)

10:00~10:30 : 小休憩 ←この時間が**朝ごはん**になる児童が多い

10:30~12:30 : 授業(40分×3コマ、**休み時間なし**)

12:30~14:00 : 昼休憩(給食はないので、**家に帰る**子も)

14:00~15:20 : 授業(40分×2コマ)

*幼稚園・1・2年生は、午前中で授業終了

*水曜:午後から教員会議(子どもは帰宅)

*金曜:午後から体育(指導者がいないため、自由時間)



中国の支援によって、
建てられた小学校

ざっと、ツツコミどころの満載な私の活動先についてご紹介していききました。

学校は1月13日(火)から始まりました。日本の学校だと、子どもの人数を把握して、クラスを決めて...と新学期が始まる前から仕事は始まりますよね。タンザニアでは、「**新学期初日=先生の仕事初めの日**」となっています。先生たちが、すごいのは**全く慌ててないんですよ**。校長室には、毎日何十人もの子と保護者が入学手続きで出入りしていますが、他の先生たちはゆったり話していたり、たまに授業したりといった状況です。そのため、日に日に**子どもが増えていく**様子を見ることができます。私の担当は5年生の算数となっているため、よく5年生の教室に行くのですが、初日は50人前後の子どもが気付けば、**70人以上**にもなっていました。「はにゃ?」って感じてすよね。そのため、児童数は600人を超えているんじゃないかな?と思っています。

毎日、なにかしらで私を楽しませてくれる素敵な学校です。この学校で、「**協力隊としての活動**」、そして「**人生初の教員生活**」を送っていきます。欲張らずに、自分ができることを少しずつやっていこうと思います。

私の人生初の教員生活

私の人生初の教員生活が、タンザニアのムソガ小学校で始まりました。打合せ等も特になく、初出勤日が新学期初日となりました。ドキドキしながら学校に行きましたが、同僚の先生方はかなりウェルカムな雰囲気です。ほとんどの子どもが私のことを覚えてくれていて、「Taichi! Shikamoo.」と挨拶してくれました。一度、10月に顔を出しただけなのに、よくみんな覚えてくれていて、とてもうれしい気持ちになりました。

私の主な活動内容は、**5年生の算数の授業**のみです。また、最初の2週間は見学をしたいとお願いしているため、先生がやっている授業を観察する、授業中に出された課題の丸付けをするといったことをしています。ただ、丸付けと言っても60人以上のノートを確認することになるので、かなり大変です。また、問題の順番がずれていたり、そもそも問題を正しく写せていなかったりと、一筋縄ではいきません。今行っている活動に余裕が出てきたら、いろいろと考えていることを試していきたいと思います。

まだ、2週間ほどしか活動していませんが、「**日本では教員はできないかも。**」と思い始めています。教員しているみなさんに心からリスペクトを送ります。

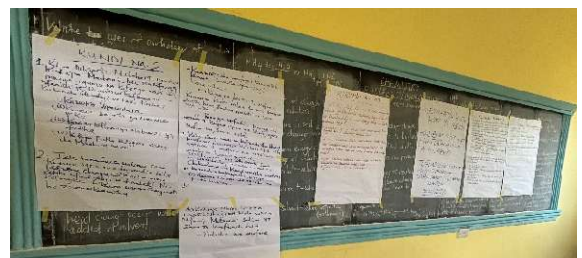
授業について

先ほど、時間割についてご紹介していましたが、この時間割は機能しているとは言い難いものでした。まず、授業が**時間通りに始まることはほとんどありません**。大きな要因は、学校に**時計がない**という点です。ほとんどの先生が、「今何時?」と聞き、「あ、今授業の時間だったわ。」というように授業に向かいます。(新学期だからこうなっていると願いたいばかりですが...)。ただ、時間通りに始まらなくても時間内、いや時間よりも早く授業を終わらす先生がほとんどです。例題を解説し、黒板に問題を書き終わったら終わり、職員室に戻る。40分の授業時間がありますが、**20分~30分**で終わることが多いです。

出された問題については、その日中に確認してもらうのが当たり前です。ただ、先生が教室にいないれば他の科目の先生が教室で授業をしだすので、解くための時間はほとんどありません。また、焦ってノートに写していくので、先ほども述べたように、違う問題を書いていた、問題が抜けていたり、正しく板書ができていません。こういった部分も、うまく改善していきたいなと感じています。

算数教員の協議会へ!

活動始まって3日目。「算数の先生の協議会があるから。」と言われ、同僚の先生4人と近くの中学校へ。近隣の小学校の先生など13名ほど集まり、朝9時ごろから始まりました。内容については、1割も理解できませんでした。ただ、「算数」というより、**指導全般**についての話が多かったと思います。また、指導要領のようなものの内容をただただ写すという時間もありました。内心、「**なんのためにやっているの?**」と思う瞬間が多くありましたが、こういう会が行われているということが知れただけでもよかったかなと思います。(昼前には終わると言われたこの会は、17時ごろまでありました)



↑協議会での意見の一部

